

2020年5月6日

掲示

機械系学科2年生 加工演習受講 希望者各位

機械システム工学加工演習（機械システム工学科2年生）

機械加工演習（機械工学科2年生）

上記科目の受講希望者は下記1, 2, 3をご確認下さるようお願い致します。

1. 受講希望者*

◇前半クラス, 後半クラス全員 履修登録を必ずしてください。

既に受講の意思表示を頂いた方も必ず履修登録を行ってください。

2. 初回授業ガイダンス(遠隔授業)

受講希望者は全員下記のガイダンス（遠隔授業）へ参加して下さい。

初回ガイダンス

- ・機械システム工学科 全員 5/12 火 1限（1時間程度）
- ・機械工学科（学籍番号 後半 ⑦～⑫） 5/12 火 3限, 4限
- ・機械工学科（学籍番号 後半 ①～⑥） 7/7 火 3限, 4限

3. 受講上の注意と予定は下記. の通り

◇授業内容はシラバスをご確認下さい。

◇テキストに関する問い合わせは生協へ直接お願い申し上げます。

3. 連絡先

at11831@ns.kogakuin.ac.jp 機械工学科 立野昌義 までご連絡下さい。

備考

*今年度, 受講生の安全確保を最優先という大学方針を受け, 加工演習などの実習を伴う一部の授業のやり方が変更（座学を前期授業に移し, 後期に実習）になりました。そのため, 本来後期で授業を受けるはずだった受講生も, 座学の部分を前期に前倒しして受講することになります。

それによって生じた時間割については教務と学科で現在調整中です。調整結果によりますが, 変更があれば再度連絡いたします。

*履修相談に関しては, いろいろとご相談下さい。

機械工学科 加工演習担当者責任者

立野昌義

参考資料

◆予定表 加工演習の日程表と課題

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1ZugmTfZxrnfuQfs4K8hgWM-fjq5-81Q6/edit#gid=209872598>

◆ガイダンス資料案（差し替えの可能性があるので参考まで）

<https://drive.google.com/file/d/17IncuhOSLtOCyBeVNdx3853XgQZgtzS/view?usp=sharing>

機械加工演習・機械システム工学加工演習 履修上の注意（ガイダンス時配布資料）

本注意書および日程表（最初の授業時に配布する）は毎授業持参すること。

本注意書は時間厳守などの社会規範上のルール や 何かあったときの行動規範に則り作成されている。このため、毎週必ず目を通し、定期的に確認すること、必ず加工演習授業に持参してくること。

1. 科目の取り扱い

機械加工演習（機械工学科）は選択科目、機械システム工学加工演習（機械システム工学科）は選択必修科目である。

2. 履修上の手続き

- ① 加工演習を受講希望者は、受講意思を必ず事前に示すこと。別途指示、あわせて必ず初回授業ガイダンス（遠隔授業）に出席すること。初回では安全に関する教育や履修上の注意の説明後に班分けを予定している。
- ② 教務課への履修登録は必ず所定の期日までに行うこと。

3. 履修希望者の班編成

上記 2 の手続きを怠った者の受講は認めない。

4. 履修の条件

機械工学科：加工工学概論（1 年前期）の単位を取得していること及び機械製作法（2 年前期）を履修することが望ましい。

機械システム工学科：機械製作および加工工程（2 年前期）を履修することが望ましい。

5. 班編成および日程の揭示

履修者の班編成と授業日程は、別途履修希望者に提示する予定である。所属班により受講課題が異なるので注意すること。

6. 注意事項

(1) **各自の所属班を確認し、日程表に従い全テーマを受講すること。指定された班以外での受講は認めない。**

(2) **遅刻・欠席の扱い（重要）：演習課題 2 回欠席で本科目は不可となる（重要）。**

・授業開始 5 分前には所定の教室で着席すること。受講者の安全上の観点から遅刻は一切認めない（重要）。

・病気などのやむを得ない事情による欠席した場合は、回復し登校後すみやかに（基本的に翌日水曜日に）これを証明する書類をつけて、演習担当者（実習工場）に提出し、授業担当者か責任者から受講指示を受けること。

・クラブの試合などによる欠席する学生は、予定が確定次第すみやかに演習担当者（実習工場）にも事前に欠席する旨が記述された書類を提出すること。

(3) 演習の準備および持参品

・加工演習の授業では作業服を着用することが前提。**ものづくり支援センター内および TECC 内では作業服および作業に適した靴を必ず着用すること（重要）。**作業服以外の服装および靴での受講は安全上の観点から認めない。

・**テキストは必ず生協で購入すること。**新しい学習内容や課題が記述されているので、当年度の生協にあるテキストを必ず持参して受講すること。

・筆記用具・グラフ用紙・コンパス・定規・電卓を用意すること。（電卓は旋削動力測定演習(P)で必要となる）

(4) 演習時間中の注意

・**安全上の観点から、指導教員の指示に必ず従うこと。（重要）**

加工演習や実習は安全を全てに優先する。途中から受講することや演習時間中に自分勝手に振舞うことは、事故につながる場合がある。安全上の観点から、教員の指示に従わない学生や受講態度が著しく悪く、危険行為に対して注意しても守らない学生には、指導教員から退室を命ずる。退室を指示された場合は、理由によらずその演習テーマは不可となる。

(5) ・レポートの提出（提出場所：担当教員の指示に従うこと。）

・報告書・課題の提出期限は厳守のこと。ものづくりの基本は時間厳守である。

(6) その他注意

・マシニングセンタ、ターニングセンタ関係のテーマは内容が連続しているので、課題が未完成の者はそれ以降の受講は困難である。このため未完成課題以降のテーマを受講出来ない可能性がある。ターニング、マシニング課題は情報科学研究教育センターから発行された個人 ID およびパスワードが必要となる。個人 ID のユーザ名と初期パスワードを記載した「個人 ID 交付証」が必要な方は忘れず持参すること。

・演習テーマ・演習場所・担当教員はテキストおよび学生便覧の構内配置図を参照のこと。

・**レポート課題：**

演習とは別にテキスト最終頁のレポート課題（後期：汎用工作機械と CNC 工作機械の役割、自筆）に対応するなど、テキストから所定用紙をきれいに切り取り、前期授業最終回までにものづくり支援センターに提出で進めて下さい。（変更があればその都度連絡

）

（レポート課題に関しては、現状では例年の通りで進める予定です。ただし、今年度に限り状況に合わせた指示に変える可能性があります）

以上